

## 6. その他の事業

### (1) 視察・研修記録

#### i) 視察実績

日にち	視察先と目的	参加人数
2014年 6月18日(水)	明治大学和泉ボランティアセンター 目的：センターの取り組み内容のヒアリングと見学	アドバイザー1名 コーディネーター2名
11月25日(火)	高崎健康福祉大学 目的：センターの取り組み内容のヒアリングと見学	コーディネーター1名 学生1名

#### ii) 研修・勉強会参加実績

日にち	研修先・勉強会名等	参加人数
2014年 5月17日(土)	第2回日本PBLシンポジウム 主催：プロジェクトマネジメント・インキュベーション協会 会場：聖学院中学高等学校（東京都北区）	コーディネーター1名
9月5日(金)	彩の国市民活動サポートセンター研修会 主催：公益財団法人いきいき埼玉 会場：埼玉県県民活動総合センター（伊奈町）	コーディネーター1名
9月12日(金) ～13日(土)	大学ボランティアセンター全国フォーラム2014 主催：大学ボランティアセンター全国フォーラム2014実行委員会、 NPO法人ユースビジョン 会場：聖学院大学	教員2名、職員2名 コーディネーター2名 アドバイザー1名
10月26日(日)	対話型ファシリテーション研修 主催：特定非営利活動法人ソムニード 会場：ADRA Japan 事務所（東京都渋谷区）	コーディネーター1名
11月5日(水) 12日(水) 24日(月)	神奈川第59期・横浜 災害救援ボランティア講座 主催：公益財団法人日本法制学会災害救援ボランティア推進委員会 会場：神奈川県社会福祉会館、横浜市民防災センター	コーディネーター1名
12月12日(金) ～13日(土)	大学間連携災害ボランティアシンポジウム 主催：大学間連携災害ボランティアネットワーク 会場：東北学院大学土樋キャンパス	コーディネーター1名
2015年 2月7日(土)	市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2015 主催・会場：東京ボランティア・市民活動センター（飯田橋）	コーディネーター2名
2月13日(金)	チョコっとかまいし大会議 主催：一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 場所：いいオフィス（上野）	コーディネーター1名 学生4名

2月26日(木)	第三回学生ボランティアと支援者が集う全国研究 交流集会 主催：独立行政法人国立青少年教育振興機 後援：文部科学省、独立行政法人日本学生支援機構 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター (代々木)	コーディネーター2名 学生6名
3月2日(月)	平成26年度大学・短大ボランティアセンター 懇談会 主催：埼玉県社会福祉協議会 場所：彩の国すこやかプラザ（さいたま市浦和区）	コーディネーター2名

## (2)視察対応・活動発表・講師対応

## i)視察対応

日にち	来訪団体名	来訪人数
2014年 5月23日(金)	常磐大学	教員1名
9月12日(金) ～13日(土)	大学ボランティアセンター全国フォーラム2014	25大学39名 社会福祉協議会・ NPO関係者4名
10月3日(金)	浦和大学	教員1名
11月18日(火)	大阪桃山学院大学	職員2名

## ii)活動発表

日にち	活動発表先
2014年 7月4日(金)	城西大学経済学部「地域ボランティア論」 会場：城西大学坂戸キャンパス 内容：本センターの活動紹介、復興支援ボランティアチーム【SAVE】・ ほたる祭実行委員会の学生による活動報告 発表者：学生2名、藪内阿子
11月8日(土)～ 9日(日)	日本福祉教育・ボランティア学習学会 会場：日本社会事業大学清瀬キャンパス 内容：①大学ボランティアセンター紹介ブースでの展示 ②学会発表「復興支援ボランティアスタディツアーにおける学生の学び」 発表者：川田虎男
2015年 1月10日(土)	平成26年度上尾市協働のまちづくり推進事業地域の支援で活かされる 若者の力 第Ⅱ部 主催：不登校の子どもを持つ親の会 ムーミンの会 上尾市子ども未来部子ども・若者相談センター 会場：上尾コミュニティセンター 内容：「地域で支え合うために」 発表者：川田虎男

2月17日(火)	マチノワサロン「みんなの防災協定」 主催：防災からまちづくりを考える実行委員会 会場：仙台市市民活動サポートセンター 内容：釜石と聖学院大学のつながりこれまで・これから 発表者：芦澤弘子
2月25日(水)～ 3月3日(火)	被災地支援展示&サロン「あの日から4年。私たちは忘れない。」 ・支援・交流を伝える、広げるー 主催・会場：さいたま市市民活動サポートセンター（さいたま市浦和区） 内容：①復興支援活動の展示 ②サロンでの活動発表（3月1日(日)） 発表者：復興支援ボランティアチーム【SAVE】、芦澤弘子
3月2日(月)	平成26年度大学・短大ボランティアセンター懇談会 主催：埼玉県社会福祉協議会 内容：学生の“やる気”スイッチを探せ！ 場所：彩の国すこやかプラザ（さいたま市浦和区） 発表者：藪内阿子

### (3) 学内他部署との連携

#### i) 学生課主催：リーダーズキャンプへのサポートについて

学友会では、クラブ・同好会・委員会等のリーダー層を対象に、リーダーズキャンプを実施している。センターでは、昨年度より学生課からの依頼で協力している。基調講演「リーダーとは何か？」のほか、ディスカッション「リーダーに必要な資質とは」「リーダーお悩み座談会」「リーダー宣言」の企画と当日の進行（ファシリテーター）、学生企画であるレクリエーション等の企画フォローを行った。

- ・サポート期間：2014年6月～9月
- ・キャンプ日程：9月1日(月)～2日(火) 1泊2日

#### ii) キリスト教センター主催：NSO(New Student Orientation)へのサポートについて

大学で行う、新入生のオリエンテーション行事のひとつである、「NSO(New Student Orientation)」のなかの、学生企画で行う「学生NSO」について、学生たちの企画の組み立てから実施を実行委員の学生が主体的に取り組めるよう、ファシリテーターとして、学生自身が気づき、考え、決定し、責任を持って取り組めるよう支援を行った。

- ・サポート期間：2014年11月～2015年4月
- ・学生NSO日程：2015年4月6日(月)～7日(火) 2日間

### (4) 他大学との連携

#### i) 大学ボランティアコーディネーター研究会

本研究会は、現在設置が相次いでいる関東圏の大学ボランティアセンターの教職員の研修と情報交換を目的に2013年度に発足し、年2回のペースで開催している。2014年度は、従来からの研究会の実施に留まらず、聖学院大学が会場となった大学ボランティアセンター全国フォーラム（主催：NPO法人ユースビジョン）の分科会の企画・運営を担った。

## ①研究会

日時 2014年6月18日(水) 午後3時～6時

場所 明治大学 和泉ボランティアセンター

内容 ・明治大学和泉ボランティアセンターの見学  
 ・ボランティアセンター業務についての情報交換  
 ・全国ボランティアセンターフォーラムの実施について

参加校 ・明治大学和泉キャンパスボランティアセンター  
 ・明治大学生田キャンパスボランティアセンター  
 ・神田外語大学ボランティアセンター  
 ・中央大学ボランティアステーション  
 ・聖学院大学ボランティア活動支援センター

## ②大学ボランティアセンター全国フォーラム分科会企画

日時 2014年9月13日(土) 9:30～12:30

場所 聖学院大学

内容 分科会① コーディネーターの役割

コーディネーターのお悩み座談会「コーディネーターの役割、職務とは？」

企画 松本真理子(中央大学ボランティアセンターコーディネーター)／柳澤更沙(明治大学ボランティアセンターコーディネーター)／實山あゆみ(神田外語大学ボランティアセンターコーディネーター)／藪内阿子(聖学院大学ボランティア活動支援センターコーディネーター)／芦澤弘子(聖学院大学ボランティア活動支援センターコーディネーター)／川田虎男(聖学院大学ボランティア活動支援センターアドバイザー)

## ③成果と課題

現在の参加メンバーは、センター設立後3～5年と同じような環境に置かれている。そのため問題意識も共通点が多く、お互いの創意工夫を共有することで、それぞれの実践に活かすことができています。また、一つのセンターで一人のボランティアコーディネーターしか配置されていない大学もあり、このような場を通してセンターのミッションや自分の取り組みを振り返る機会となっている。今年度は、定例の研究会だけではなく、大学ボランティアセンター全国フォーラムの分科会を企画・運営し、全国の大学ボランティアセンター関係者と交流を深めることができた。

## ii)第8回大学ボランティアセンター全国フォーラム

「大学生の可能性を引き出し、高めるボランティアセンターの支援のあり方を探る」

大学ボランティアセンター全国フォーラムは、阪神・淡路大震災の時から学生のボランティア活動を応援し、全国の大学ボランティアセンターを支援しているNPO法人ユースビジョンにより毎年開催されている。今回、ユースビジョンからの依頼を受け、聖学院大学を会場に第8回目の全国フォーラムを開催することとなった。センターとしても共催団体として、センター見学会、基調講演、全体会Ⅰを担当し、今回のタイトルにもある「大学生の可能性を引き出し、高めるボランティアセンターの役割」について、実践を報告させていただいた。さらに、関東圏での研究会である「大学ボランティアセンター研究会」と連携し、分科会の企画・運営に携わった。

日時 2014年9月12日(金)・13日(土)

会場 聖学院大学

主催 大学ボランティアセンター全国フォーラム2014 実行委員会  
特定非営利活動法人ユースビジョン

共催 聖学院大学ボランティア活動支援センター

#### ①企画協力内容

##### 1. 聖学院大学ボランティア活動支援センター訪問

学生サポートメンバー（サポメン）の協力を得て、ボランティア活動支援センターの見学会を実施。掲示板等のハード面の見学だけでなく、センターの機能や関わる学生などソフト面についても聖学院大学らしさを知っていただく機会となった。

##### 2. 基調講演「激変する社会で、学生が生き抜くためのボランティアの可能性」

講師：阿久戸光晴（聖学院理事長・院長）

聖学院大学ボランティア活動支援センター設立当時の学長である阿久戸光晴先生から、センター発足当時を振り返り、ボランティア活動と学生の学びについて講演をいただいた。阿久戸先生からは、「ボランティア活動を通じた学生の学びや成長、その根底にあるものが、社会課題に気づく力、自分の力で答えを見出す力と考えます。」とのメッセージをいただいた。

##### 3. 全体会Ⅰ「聖学院大学ボランティア活動支援センターの実践と今後」

聖学院大学ボランティア活動支援センターが大切にしている、「一人ひとりの学生と向き合い、真摯に関わりながら、学生自ら動く場を共に立ち上げ、自ら創る経験を様々な形でサポート」について、コーディネーターと学生サポートメンバーによる対談形式での実践報告を行った。

##### 4. 分科会① コーディネーターの役割

コーディネーターのお悩み座談会「コーディネーターの役割、職務とは？」

※詳細はp58 ページ「大学ボランティアコーディネーター研究会参照」

#### ②成果と課題

大学ボランティアセンター全国フォーラムには、これまでも参加者として継続的に関わっており、前年度も実践報告をさせていただき、多くの学びをいただく機会となっていた。今回会場校になったことで、聖学院大学の取り組みを全国の関係者に知っていただく機会になり、人的なネットワークも強化された。また、本イベントを通じて「大学生の可能性を引き出し、高めるボランティアセンター」としての聖学院大学ボランティア活動支援センターの取り組みを評価していただくことができた。

また、本イベントに関わった大学生にとっても、自分たちの活動を発信することで、これまでの取り組みを振り返る機会となり、自分たちの活動にさらに自信をもって取り組めるようになった。